

研修報告書 No. 3

所 属：県外大学病院

氏 名：2年目研修医 山本 純平

研修先：特定医療法人長生会 大井田病院
医療法人聖真会 渭南病院

大井田病院・沖の島診療所・渭南病院にて1ヶ月地域医療研修させていただきました山本純平です。今回の研修について報告書を書かせていただく機会を頂きましたのでご報告します。私が研修している大学病院でも1ヶ月間の地域医療研修が必須で、ちょうど研修先の病院を選ぶ時期に高知県から研修医の募集がありました。私自身、中学高校は愛媛県にて寮生活をしてきたため、四国には馴染みもあり今回応募させていただきました。

最初の2週間は宿毛市にある大井田病院で研修を行いました。主に一般外来や検診で患者さんを診察しましたが、大学では救急外来での診察しか経験がなかったためプライマリケアに重点をおいた診療は初めての経験でした。また持病のために動けない方や山奥など交通の便が悪いために来院できない患者さんのご自宅にも往診や訪問看護で伺い、病気と闘いながら生活されている方々の生の声を聴くことができました。地域包括支援センターでの研修でも訪問調査でご自宅に上がらせていただきましたが、なかには身寄りがなくギリギリの環境で生活されている高齢者もあり、地域における介護や医療体制について考えさせられる場面もありました。ほかにも小児科の予防接種や検診、講演会などで模擬患者役を演じた経験は大学ではあまりできない体験でしたので、地域のニーズに応じた医療を提供していく重要性を深く学びました。

沖の島診療所では常勤の医師が居ないため実質無医村であり、その中の限られた医療機器を使って診察を行ない鑑別診断を考えるのは、大学での総合診療とはまた違いとても独特でした。また普段電子カルテしか扱ったことがなかったため紙カルテでの診療は初めてであり少し戸惑う場面もありました。沖の島は離島なので娯楽施設や商業施設といったものはほとんどないですが、島を歩いていると離島ならではの生活環境を垣間見ることができて興味深かったです。1泊2日の滞在でしたが、沖の島の山の自然や青い海は非常に綺麗で、都会での研修で疲れた体を癒やすにはとてもいい環境でした。

土佐清水市にある渭南病院では外来を中心に病棟や施設の患者さんを見させていただきました。私は将来内科系に進もうと考えていますが、今回外科の先生方について火傷や転倒といった傷の処置を学び、外科系の簡単な初期対応を身につけることが出来ました。また周術期管理されている患者さんの診察や、中心静脈カテーテルや腹水穿刺などの手技を行なう機会はとても勉強になりました。こういった経験を通し土佐清水の地域医療の実態を目にすることで、都会との医療従事者数の差や患者さんの生活環境の違いを実感するこ

とができました。

大学での研修は急性期治療が主であったため、治療が終わり自宅に帰られた患者さんの生活や、慢性期病棟に転院された患者さんを見る経験はありませんでした。今回の研修では急性期から慢性期まで様々な患者さんを見る事が出来たので、自分の中で慢性期治療のイメージを身につける事が出来たと思います。また地方という高齢者が多く医療資源が限られた環境でいかに地域医療を実践していくか、宿毛市や土佐清水市が試みている医療連携、いわゆる「共助」や「公助」だけでなく、家族での支え合いやボランティア、「自助」や「互助」が地域におけるプライマリケアに必要な要素なのではないかと今回の地域研修を通して学ぶ事が出来ました。

最初は東京から遠く離れた高知県で研修することに不安もありましたが、病院の先生方やスタッフさん、また地域の住民の方々のフレンドリーな対応のおかげでそれはあっさり取り払われました。毎日観光や飲み会でいろいろ楽しい思い出ができてとても楽しかったです。高知県で地域研修ができて本当に良かったと思っています。1か月間ありがとうございました。